

「美しき日本刀～三河地方の刀剣を中心に～」展示目録

会期：平成30年4月21日(土)～平成30年7月1日(日)平成30年5月21日(月)

(前期：4月21日～5月21日 / 後期：5月23日(水)～7月1日)

特別展示室

No.	種別	銘	年代(西暦など)	刀長	反り	備考	所蔵	前期	後期
1	脇差	(表) 作陽幕下細川正義(刻印) (裏) 天保八酉年二月日龍城臣吉達彫作	江戸時代後期 天保8年(1837)	38.4	0.3	表に護摩箸と爪、裏に梅の彫物、 三河刀工(岡崎藩工)	岡崎市	◆	◆
2	脇差	平安城長吉	室町時代 (16世紀)	30.3	0.3	表に腰樋、裏に逆向きの草俱利伽羅龍彫物、 三河刀工	岡崎市	◆	
3	刀	兼辰	江戸時代前期 (寛文頃)	68.2		三河刀工	個人蔵		◆
4	刀	(表) 正真 (裏、金象嵌) 猪切	室町時代後期	70.6	1.9	表に梵字と腰樋、裏に梵字と護摩箸、 三河刀工(三河文殊)	岡崎市	◆	
5	脇差	三州岡崎住兼辰	江戸時代前期 (貞享頃)	39.8		三河刀工(岡崎)	個人蔵		◆
6	刀	助良	室町時代末期	64.9	1.3	三河刀工か	岡崎市	◆	◆
7	短刀	助良	室町時代末期	30.2	0.5	三河刀工か	岡崎市	◆	◆
8	刀	薬王寺	室町時代 (16世紀)	70.7	1.22	表に護摩箸、裏に腰樋入、拵付属、 三河刀工	岡崎市	◆	
9	刀	三州住藤原勝重	江戸時代前期 (元禄頃)	64.0		三河刀工	個人蔵		◆
10	刀	薬王寺	室町時代 (16世紀)	69.4	2.5	三河刀工(薬王寺派)	岡崎市	◆	
11	短刀	(表) 三州住鋤柄國佐 (裏) 元治元年二月日	江戸時代末期 元治元年(1864)	22.4		三河刀工(国府)	個人蔵		◆
12	刀	(表) 薬王寺 主真助 (裏) 文亀二年八月日	室町時代 文亀2年(1502)	69.1	2.05	変わり塗拵付属、 三河刀工(薬王寺派)	岡崎市	◆	
13	刀	(表) 三州住國佐 (裏) 嘉永七甲寅正月吉日	江戸時代末期 嘉永7年(1854)	75.3		三河刀工(国府鋤柄初代)	個人蔵		◆
14	刀	三州薬王寺助次	室町時代 (16世紀)	73.4	2.4	銀鞘桐紋太刀拵付属、 三河刀工(薬王寺派)	岡崎市	◆	
15	刀	(表) 三州住耿々齋國武 (裏) 慶應三卯年	江戸時代末期 慶応3年(1867)	80.6		三河刀工(国府鋤柄二代)	個人蔵		◆
16	刀	三州薬王寺助次	室町時代 (16世紀)	71.5	2.1	三河刀工(薬王寺派)	岡崎市	◆	
17	脇差	(表) 國武 (裏) 弘化二年八月日	江戸時代末期 弘化2年(1845)	36.2		三河刀工(国府鋤柄二代)	個人蔵		◆
18	刀	三州薬王寺助次	室町時代 (16世紀)	73.3	1.9	三河刀工(薬王寺派)	岡崎市	◆	
19	刀	(表) 三州住鋤柄武宣 (裏) 慶應元丑年	江戸時代末期 慶応元年(1865)	69.5		三河刀工(国府鋤柄三代)	個人蔵		◆
20	鑑	三州吉田来兼房	江戸時代中期	19.1	—	三河刀工(吉田)	岡崎市	◆	◆
21	刀	三川国兼継	江戸時代	71.2	1.9	拵付属、三河刀工	岡崎市	◆	◆
22	刀	三州住鋤柄鋤柄國佐 文久三年亥二月吉日	江戸時代末期 文久3年(1863)			青貝黒漆塗拵付属、 三河刀工(国府鋤柄初代)	岡崎市	◆	◆
23	刀	三川国岡崎住神風真菅	江戸時代後期	69.3	1.6	三河刀工(岡崎、伊奈勘)	岡崎市	◆	◆
24	脇差	龍城臣吉達作 安政四年八月日	江戸時代末期 安政4年(1857)	51.4	1.7	三河刀工(岡崎藩工)	岡崎市	◆	◆
25	脇差	龍城臣吉達作	江戸時代後期	36.9	0.5	表に梵字と三鈷柄劍、裏に梵字と護摩箸・爪の彫物、 三河刀工(岡崎藩工)	岡崎市	◆	◆
26	刀	(表) 三河国刈谷藩鍛冶寛重作 (裏) 明治四年八月日	明治時代 明治4年(1871)	70.4	1.0	三河刀工(刈谷藩工)	個人蔵	◆	◆
27	脇差	(表) 阿武隈川寛重作 (裏) 文久三年七月日	江戸時代末期 文久3年(1863)	49.1	1.2	三河刀工(刈谷藩工)	個人蔵	◆	◆

※目録中の刃長・反りの長さの単位は全てcm、反りについては計測してないものもあります。
また、展示品の一部については平成30年 5月22日(火)に入れ替えをいたします。

三河武士のやかた家康館

「美しき日本刀～三河地方の刀剣を中心に～」 展示目録

会期:平成30年4月21日(土)～平成30年7月1日(日)平成30年5月21日(月)

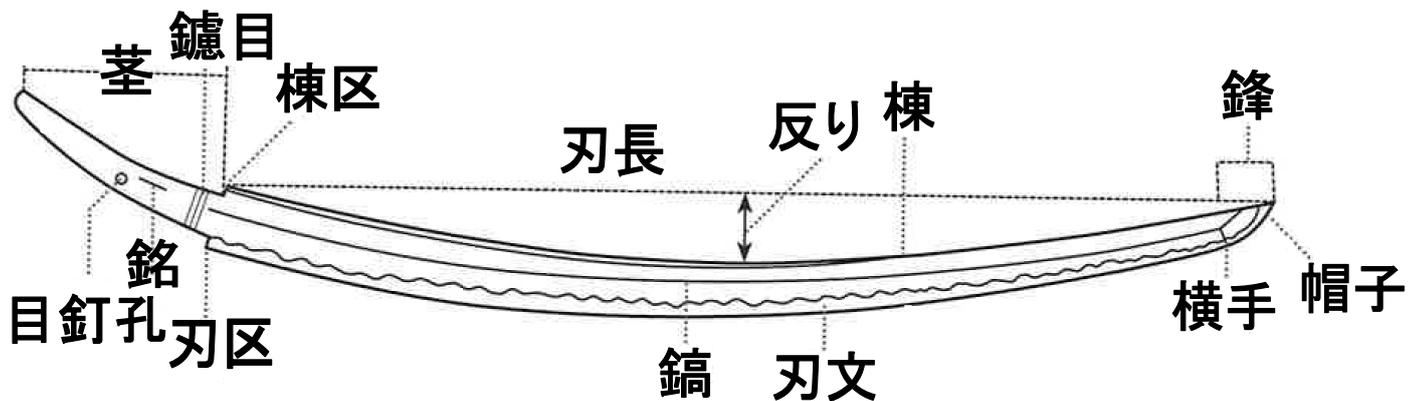
(前期:4月21日～5月21日 / 後期:5月23日(水)～7月1日)

1階展示室

No.	種別	銘	年代(西暦)	刀長	反り	備考	所蔵	前期	後期
28	刀	(表)一専齊寛重造之 (裏)明治二年二月日	明治時代 明治2年(1869)	69.9	1.06	三河刀工(刈谷藩工)	個人蔵	◆	◆
29	脇差	(表)一専齊寛重造之 (裏)慶応三年二月日	江戸時代末期 慶応3年(1867)	39.9	0.8	三河刀工(刈谷藩工)	個人蔵	◆	◆
30	脇差	三州池鯉鮒住兼基	江戸時代前期 (元和・寛永頃)	45.42	1.21	拵付属、三河刀工(知立)	個人蔵	◆	◆
31	小太刀	和泉守藤原兼芝(定)		56.51	1.36	拵付属	個人蔵	◆	◆
32	刀	兼元		69.84	1.66	号「浮股兼元」、拵付属、 伝福嶋左衛門太夫(正則) 所持	個人蔵	◆	◆
33	太刀	無銘(成家)		74.15	1.3	西尾藩家老今井家伝来、 朱石目地塗鞘打刀拵付	個人蔵	◆	◆
34	太刀	吉房(一文字)		68.9	2.4		個人蔵	◆	◆
35	太刀	利恒		66.4	1.7		個人蔵	◆	◆
36	太刀	安綱		94.0	2.0		個人蔵	◆	◆
37	太刀	無銘(伝来国行)		75.8	2.4		個人蔵	◆	◆
38	太刀	守弘		68.5	2.4		個人蔵	◆	◆
39	小太刀	守弘		54.1	1.4		個人蔵	◆	◆
40	刀	(表)石堂運寿一精鍛造之 於江府米沢住玉木宗七郎研之 (裏)安政二年乙卯歳二月日	江戸時代末期 安政2年(1855)	75.0	2.0	黒蠟色塗鞘丸の内洲浜 紋 金具大小拵付属	個人蔵	◆	◆
41	脇差	(表)石堂運寿一精鍛作之 (裏)安政二年二月日 於江府宗七郎研之	江戸時代末期 安政2年(1855)	40.55	0.4	黒蠟色塗鞘丸の内洲浜 紋	個人蔵	◆	◆
42	刀	越前国住兼法		66.65	2.1	黒蠟色塗鞘尾張拵付属	個人蔵	◆	◆
43	脇差	無銘(伝真景、加賀)		30.8	0.1		個人蔵	◆	◆
44	脇差	相模守政常入道		51.5			個人蔵	◆	◆
45	短刀	(表)行年六十八翁宗次 (裏)明治三年九月日	明治時代 明治3年(1870)	24.2			個人蔵	◆	◆
46	太刀	(表)加賀住両山子隅谷正峯作之 (裏)昭和二二八年二月日	昭和時代戦後 昭和48年(1973)	73.6	2.8		個人蔵	◆	◆
47	太刀	(表)皇紀二千六百三年十一月吉辰 (裏)三陽真弓山麓藤原一則作之	昭和時代戦前 昭和18年(1943)	65.8		三河刀工(足助)	個人蔵	◆	◆

※目録中の刃長・反りの長さの単位は全てcm、反りについては計測してないものもあります。
また、展示品の一部については平成30年5月22日(火)に入れ替えをいたします。

刀の部分の名称



三河武士のやかた家康館